

第九十回帝國議會
衆議院

恩給法の一部を改正する法律案委員會會議錄(速記)第五回

付託議案

恩給法の一部を改正する法律案
(政府提出)(第三〇號)

昭和二十一年八月二十六日(月曜)
午前十時五十九分開議

出席委員

委員長代理 小島 徹三君

理事坂田 道太君 理事小野瀬 忠兵衛君

理事富吉 榮二君

磯崎 貞序君 白井 秀吉君

及川 規君 松尾 トシ君

森本 義夫君 川越 博君

平野 八郎君 布 利秋君

出席政府委員

法制局長官 入江 俊郎君

内閣事務官 三橋 則雄君

文部事務官 日高第四郎君

本日ノ會議ニ付シテ議案

恩給法の一部を改正する法律案
(政府提出)

○小島委員長代理

本日ハ委員長

ガ差支ヘデゴザイマスルカラ、不

肖私ガ此ノ席ヲ汚スコトヲ御許シ

ヲ願ヒマス、ソレデハ是ヨリ會議

ヲ開キ、前會ニ引續イテ質疑ヲ續

行致シマス、富吉榮二君

○富吉委員

過日ノ私ノ官吏制度

ノ改革ニ對スル長官カラノ御意見

ヲ承ツタノデアリマスルガ、現在

ノ一級、二級、三級制度ハ、決シ

テ身分的ナ關係ヲ現ハシテ居ルモ
ノデハナイト云フコトヲ、御言明
ニナツタノデアリマス、ケレドモ
官吏ソレ自體ト致シマシテモ、又
ハ役世間ト致シマシテモ、ハ結
局勤任、奏任、判任ト云フモノノ
置替デアルト云ツタヤウナ風ノ感
ジガ強イヤウデアリマシテ、此ノ
點ニ付テハ尙ホ一層ノ御檢討ヲ加
ヘラレマシテ、眞ニ官吏ガ上カラ
下マデ、一貫シテ平等ナル身分ニ
依ツテ國家ニ御奉公ガ出來ルヤウ
ナ制度ヘ、更ニ一層ノ御檢討ヲ願
ヒタイト思フノデアリマス、更ニ
政府ハ戰時中一時中止致シマシタ
高等文官試驗制度ヲ復活サレルヤ
ウデアリマス、サウ云フコトヲ新
聞等デ承ツテ居リマスルガ、是モ
私共ト致シマシテハ、最早斯クノ
如キ制度ハ必要デナイノデヤナイ
カ、サウシテ大イニ任意登用ノ實
ヲ舉グルヤウニシテ、斯ウシテ制
度ニ拘泥セズニ、本當ニ適所適材
ノ官吏ノ配置ガ出來ルヤウナ措
置ヲ御執リニナツタ方ガ宜イノデ
ヤナイカ、斯ウ云フコトヲ先ヅ考
ヘルノデアリマスルガ、之ニ對ス
ル何カ深い御意見ガアリマシタラ
一ツ承リタイト思ヒマス

サウ云フヤウナ緣故モナク、又何
等學歴モナイト云フ風ナ者ガ、遂
ニ自分ノ能力ヲ本當ニ現ハス機會
ヲ失フト云フ風ナ場合モアルノデ
アツテ、此ノ高等試驗ノ制度ガゴ
ザイマスコトニ依ツテ、何等學歴
ナク、又何等知人等モナイヤウ
ナ、全クノ獨學力行ノ士デアツテ
モ、此ノ高等試驗ニ於キマシテ、
相當ノ成績ヲ示シタト云フコトニ
依ツテ認めラレ、是ガ官界ニ於テ
十分ノ働キヲシテ居ルト云フ事例
ハ、間々アルノデアリマス、高等
試驗ノ運用ノ方法、或ハ又其ノ制
度ノ内容ニ付テハ、十分科學的ニ
之ヲ再檢討スルコトノ必要ナルコ
トハ認めマスケレドモ、ヤハリ公
平ナ見地ニ立ツテ、一應ノ能力ヲ
判定スルコト云フヤウナ、機會均等
ノ主義ニ依ル一ツノ資格ヲ與ヘル
ト云フ風ナ行キ方ハ、ヤハリ必要
デアルヤウニ考ヘテ居リマシテ、
私共トシテハ官吏制度ノ改革ニ付
キマシテモ、高等試驗ノ制度ヲ廢
シテシマフト云フヤウナコトハ、
今日考ヘテ居ラナイノデアリマ
ス、尤モ御承知ノヤウニ現在ノ任
用制度ハ、既ニ戰時中カラサウデ
アリマシタガ、今年ノ四月一日ノ
改正ニ依ツテ、更ニソレガ明確ニ
ナツタノデアリマス、ケレドモ高
等試驗ヲ通ライイ者デアツテモ、

其ノ過去ニ於ケル經歷ト云フ風ナ
モノヲ十分尊重致シマシテ、銓衡
ニ依ツテ任用ヲスルト云フヤウナ
制度ガ、相當廣ク開ケテ居リマ
ス、隨テ仰シヤイマシタヤウナ、
適材ヲ簡拔スルト云フヤウナ面
ハ、相當ノ途ガ開ケテ居ルヤウニ
思フノデアリマシテ、唯ソレノミ
ニ依リマス、折角獨學力行ヲシ
テ來タ所ノ人々ニ、十分腕ヲ伸バ
セル機會ヲ失ハセルト云フ風ナ點
ガ慮ラレマスノデ、一面又高等試
驗ノ公平ナル制ヲ存置スルト云フ
コトモ、必要ノヤウニ考ヘテ居ル
ノデアリマス、兎ニ角高等試驗ノ
試驗科目ノ選擇トカ、或ハ又其ノ
ヤリ方ニ付キマシテハ、私共トシ
テモ是ガ完全ナモノトハ思ツテ居
リマセヌ、本年度之ヲ再開スル
コトニ致シマシタケレドモ、併シ
四月一日以降ノ高等試驗ノ制度
デ、相當内容ヲ新シクハシテアリ
マスケレドモ、併シソレヲ以テ埋
想的トハ實ハ考ヘテ居ラナイノデ
アリマス、從前ノ制度ヨリハ更ニ
著眼點ハ宜カクサト思フノデアリ
マスケレドモ、併シ新制度ニ依ツ
テノ施行ガ今年初メデアリマス
カラ、尙ホ其ノ施行ノ結果等ヲ見
テ、十分反省モシ又改善モシテ行
キタイトハ思ツテ居リマス、尙ホ
斯ウ云フ試驗制度或ハ官吏制度全

付キマシテ、ソレガ官吏ノ身分的
ノ上下ヲ現ハスヤウナ風ニ考ヘラ
レテ、折角ノ趣旨ガ徹底シテ居ラ
ヌト云フ御言葉ニ付キマシテハ、
サウ云フ面モアラウカト存ジテ居
リマシテ、尙ホ十分考究シタイト
存ジテ居リマス、唯官吏ノ上下平
等ト云フコトヲ決定スルニ付キマ
シテモ、ヤハリ其ノ能力ナリ、或
ハ其ノ職務ノ内容ニ依ツテ或ル程
度ノ區別ヲ付ケマセヌト、運用上
モ困ルト云フヤウナ様子モアリマ
スノデ、ソレ等ガ所謂封建的ナ感
ジヲ持タナイヤウニ、極メテ合理
的ニサウ云フ風ナ制度ガ出來ルヤ
ウニ研究致シタイト考ヘテ居リ
マス

ソレカラ次ノ高等文官試驗ノ問
題デアリマスガ、此ノ高等試驗ノ
制度ニ付キマシテハ、今ノ御説デ
アリマス、斯カル制度ニ依ラズ
ニ、自由ニ適材ヲ任用シ適所ニ配
置スル、斯ウ云フコトガ出來ルデ
ハナイカト云フコトデゴザイマス
ケレドモ、私共ノ考ヘト致シマシ
テハ、適材ヲ自由ニ簡拔シテ之ヲ
適所ニ配置スルコトハ、言フコト
ハ易イノデアリマスガ、實際行フ
場合ニハ場合ニ依ツテ相當ノ弊害
モ之ニ伴フコトハ見逃セナイト思
フノデアリマス、又特別ニ官廳方
面ニ緣故ノアル者ガ利益ヲ得テ、

其ノ過去ニ於ケル經歷ト云フ風ナ
モノヲ十分尊重致シマシテ、銓衡
ニ依ツテ任用ヲスルト云フヤウナ
制度ガ、相當廣ク開ケテ居リマ
ス、隨テ仰シヤイマシタヤウナ、
適材ヲ簡拔スルト云フヤウナ面
ハ、相當ノ途ガ開ケテ居ルヤウニ
思フノデアリマシテ、唯ソレノミ
ニ依リマス、折角獨學力行ヲシ
テ來タ所ノ人々ニ、十分腕ヲ伸バ
セル機會ヲ失ハセルト云フ風ナ點
ガ慮ラレマスノデ、一面又高等試
驗ノ公平ナル制ヲ存置スルト云フ
コトモ、必要ノヤウニ考ヘテ居ル
ノデアリマス、兎ニ角高等試驗ノ
試驗科目ノ選擇トカ、或ハ又其ノ
ヤリ方ニ付キマシテハ、私共トシ
テモ是ガ完全ナモノトハ思ツテ居
リマセヌ、本年度之ヲ再開スル
コトニ致シマシタケレドモ、併シ
四月一日以降ノ高等試驗ノ制度
デ、相當内容ヲ新シクハシテアリ
マスケレドモ、併シソレヲ以テ埋
想的トハ實ハ考ヘテ居ラナイノデ
アリマス、從前ノ制度ヨリハ更ニ
著眼點ハ宜カクサト思フノデアリ
マスケレドモ、併シ新制度ニ依ツ
テノ施行ガ今年初メデアリマス
カラ、尙ホ其ノ施行ノ結果等ヲ見
テ、十分反省モシ又改善モシテ行
キタイトハ思ツテ居リマス、尙ホ
斯ウ云フ試驗制度或ハ官吏制度全

般ニ付キマシテハ、十分科學的ニ慎重ニ之ヲ研究致シマシテ、本當ニ民主的ナ制度ニスルコトニ付テ、我々トシテハ萬善ノ努力ヲシタイト思フテ居ルノデアリマス、御承知ノヤウニ先日臨時法制調査會ニ於キマシテ、憲法改正ノ施行ニ伴フ各種ノ法令ノ改廢ニ付テノ御意見ヲ聴取シタノデアリマスガ、其ノ中ニモ官吏制度ノ改正ノ事項ガゴザイマシタ、併シ是何分ニモ官吏制度ノ問題ニ付テ、抜本的ナ、全面的ナ立案ヲスル暇ガ今日ナカツタモノデスカラ、先日中間報告トシテ發表サレマシタ案ハ、微温的ナ案デアツタコトハ已ムヲ得ナカツタノデアリマスガ、決シテソレニ満足ヲシテ居ルモノデハナイノデアリマシテ、政府ト致シマシテモ十分此ノ點ニ付テハ、抜本的ノ改革ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○**憲吉委員** 國家試驗制度ニ對スル長官ノ御意見ハ、從來ノ所謂弊害ヲ認メツ、新タナル方向ニ向ツテ更ニ一層ノ完璧ヲ期シタイト云フ御意見デアリマシテ、之ニ付テハ私共モ多少ノ意見ヲ持ツテ居リマスケレドモ、是レ以上ハ意見ノ相違デアリマスカラ申シマセヌ、次ニ私ハ技術官吏ノ優遇ノ問題ヲ、制度トシテモウツ御伺ヒ致シタイノデアリマス、科學ガ重大ナル文化ノ基礎デアリマスコトハ是ハ私ガ喋々ヲ要シナイノデ、

今回ノ我が國ノ悲劇モ亦實ニ科學ノ劣勢ニアツタト云フコトハ申スマデモナイノデアリマス、大體現在ノ官吏制度ノ下ニ於テハ、私ノ見ル所デハ技術官ガ非常ニ冷遇サレタト考ヘテ居リマス、恐ラク是ハ獨リ私ノ考ヘノミナラズ、大體世間ノ常識デハナイカト思ヒマス、例ヘバ同ジク大學ヲ出タ者デモ、所謂法科系統ニ屬スル者ノ地位ニ比ベテ、理學、工學、其ノ他専門ノ學術ニ依ツテ立タレタ技術官ノ地位ハ洵ニ低イ、從來ニ於ケル官吏ノ身分ノ上カラ言ツテモ恐ロシク低イガ、其ノ待遇、俸給、給與等ノ面カラ見テモ著シク劣勢デアル、局長、課長ト云フヤウナ所デハ極ク特別少數ノ者ヲ除イテハ、殆ド技術官吏ハ容レラレナイト云フヤウナ狀態ニアツタト思ヒマス、又現在アルト思ヒマス、是ハ色々ナ事情モアリマスガ、法科系統ノ方カラ色々其ノ理由トシテ言ハレル所ニ依ルト、専門ノ學問ヲ修メテ居ル技術官ノ諸君ハ、其ノ見識視野ガ狭イ、隨テサウ云フ綜合的ナ重要ナ「ポスト」ニハ、之ヲ採用スルコトハ出來ナイト云フコトガ、最も大キナ理由ノ「ツデアルヤウ」ニ思ハレマス、ソレデハ一體ドウ云フ譯デサウ云フ工合ニ追ヒ込ンダカ、日本ノ殊ニ技術者、科學者ト云フモノハ非常ニ視野ガ狭クテ、分科的デハアルケレドモ、

今回ノ我が國ノ悲劇モ亦實ニ科學ノ劣勢ニアツタト云フコトハ申スマデモナイノデアリマス、大體現在ノ官吏制度ノ下ニ於テハ、私ノ見ル所デハ技術官ガ非常ニ冷遇サレタト考ヘテ居リマス、恐ラク是ハ獨リ私ノ考ヘノミナラズ、大體世間ノ常識デハナイカト思ヒマス、例ヘバ同ジク大學ヲ出タ者デモ、所謂法科系統ニ屬スル者ノ地位ニ比ベテ、理學、工學、其ノ他専門ノ學術ニ依ツテ立タレタ技術官ノ地位ハ洵ニ低イ、從來ニ於ケル官吏ノ身分ノ上カラ言ツテモ恐ロシク低イガ、其ノ待遇、俸給、給與等ノ面カラ見テモ著シク劣勢デアル、局長、課長ト云フヤウナ所デハ極ク特別少數ノ者ヲ除イテハ、殆ド技術官吏ハ容レラレナイト云フヤウナ狀態ニアツタト思ヒマス、又現在アルト思ヒマス、是ハ色々ナ事情モアリマスガ、法科系統ノ方カラ色々其ノ理由トシテ言ハレル所ニ依ルト、専門ノ學問ヲ修メテ居ル技術官ノ諸君ハ、其ノ見識視野ガ狭イ、隨テサウ云フ綜合的ナ重要ナ「ポスト」ニハ、之ヲ採用スルコトハ出來ナイト云フコトガ、最も大キナ理由ノ「ツデアルヤウ」ニ思ハレマス、ソレデハ一體ドウ云フ譯デサウ云フ工合ニ追ヒ込ンダカ、日本ノ殊ニ技術者、科學者ト云フモノハ非常ニ視野ガ狭クテ、分科的デハアルケレドモ、

綜合的デナイト云フコトハ、凡ソ當ヲ得タ批評デアラウト私ハ思フ、サウ云フ所ニ追ヒ込ンダト云フコトハ過去ノ官吏制度ナリ過去ノ國民ノ一般ノ思想ガ非科學的デアツテ、法律萬能ノ思想カラ出發シテ居ル、斯ウ云フコトヲ私ハ考ヘル、茲ニ於テ斯ウシタ事柄モ十分今後ノ施政ノ上ニ於テ、改革ヲシテ戴キタイト云フコトヲ、強ク主張シタイノデアリマス、之ニ付テ當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○**入江政府委員** 只今ノ技術官ニ對スル取扱ニ付テノ御意見ハ全面的ニ同感デアリ、又政府モ其ノ方針ニ從ツテ努力ヲシツ、アリマシテ、御話ノヤウニ技術官ノ待遇ハ實際從來甚ダ良クナカツタト云フコトハ認メザルヲ得ナイノデアリマシテ、之ニ付テハ色々ナル沿革アリ、理由ガアルカト思ヒマスケレドモ、是ハ甚ダ不適當ダツタト思ヒマス、此ノ四月一日ノ官吏制度ノ改正ニ於テモ、技術官ヲ出來ルダケ事務官ト平等ノ立場ニ立ツテ、之ニ公平ナ扱ヒヲシナイヤウニト云フ點ニ著眼ヲシテ作リ、其ノ後モ其ノ線ニ沿ウテ運用シテ居ルノデアリマス、恐ラク今後ハ御話ノヤウナ弊害ハ、漸次除去サレテ行クノダラウト思ヒマスケレドモ、何分ニモ官界ヲ流レテ居ル「ツ」因循姑息ノ氣分ノ爲ニ、未ダ我々ガ意圖スルヤウニ行

ハレテ居ラナイ面モアラウカト思ヒマスノデ、之ニ付テハ出來ルダケ努力シテ、サウ云フモノハ一日モ早く拂拭サレルヤウニ努メマス、尙ホ今申上ゲマシタ官吏制度ノ四月以降ノ改正ニ依ツテドウ云フ點ガ變ツタカト申シマス、從前ニ於テモ或ハ官等ノ問題トカ、俸給ノ問題トカハ、制度上ハ別段不平等ナコトニナツテ居ナカツタノデアリマスガ、官廳内部ニ於ケル内規ガアツテ、例ヘバ俸給ヲヒゲル場合、或ハ又官等ヲ上ゲル場合、技術官ノ方ガ非常ニ不平等ナ扱ヒヲ受ケテ居リマシタ、ソコデ四月以降ハ俸給ヲ上ゲル場合デモ、今度官等ハナクナリマシタガ、級ヲ上ゲル場合ノ扱ヒニ付テモ、全ク其ノ内規ヲ撤廢シテ平等ニ扱フト云フコトデ實ハ運用シテ居ルノデアリマス、更ニ又任用ノ場合ニ於テモ、是ハ從前カラモアツタノデアリマスガ、技術官ヲシテ居リ、若干ノ經驗ガアル以上ハ、同ジヤウナ系統ノ事務官ニモナレルト云フ途ガ認メラレテ居リマシテ、此ノ點ハ今度ノ官吏制度ノ改革ノ中ニモ入ツテ居リマシテ、十分其ノ趣旨ヲ運用シタイト思ツテ居リマス、又四月一日ノ改正ニ依ツテ、例ヘバ各省ノ局長ハ從來ハ特別ノ官、獨立ノ官ニナツテ居リマシタガ、之ヲ職ニ致シマシテ、補職ニスルコトニ致シマシタガ、其ノ時ニ於テ各省官制通則中

ニ、局長ハ一級ノ事務官又ハ技官ヲ以テ充ツト明瞭ニ書キマシテ、其ノ扱ヒヲ制度上モ對等ニシタノデアリマス、從前モ技術官出身程度ヲ局長ニスルコトハ是ハ可能デアツタノデアリマスガ、其ノ心持ヲ更ニハツキリスル意味ニ於テ、各省ノ局長モ、局長ノ性質上本來的ニ技官デモ事務官デモ宜イト云フコトニシテアリマス、是モ具體的ニハ自ラ技術ノ關係アル方面ニ技術官ガ局長ニナルノデアリマセウガ、技術官トシテ相當ノ經驗ガアレバ、勿論純然タル事務ノ方ニモ之ヲ活用スル方法ヲ認メテ居リ、其ノ方ニ努力シツ、アリマス、大體左様ニ御諒承願ヒタイト存ジマス

○**憲吉委員** 技術官ニ對スル當局ノ方針ハ洵ニ結構ダト思ヒマス、從來ノ官廳ニ於ケルヤリ方ガ實際民間ニモ影響致シマシテ、民間會社等ニ於テモ殆ド技術畑ノ人ハ冷遇ヲ受ケテ居リマシタ、自由デアルベキ會社ノナクテナラナイ地位ニアリナガラ、彼ガ技術出身ノ爲ニ、重役ニ採用サレナイ、重要ナ「ポスト」ニモ就ケナイ、斯ウ云フ弊害ハ隨所ニアル、是カ所謂我が國ノ「ツ」科學ノ進展ノ非常ニ大キナ弊害ノ「ツ」デアツタト私ハ思ヒマス、國民思想ニ及ボス影響ニ於テモ亦同ジヤウデ、或ル高等學校ニ入ルノデモ出來ルダケ頭ノ良イ者ハ文科ニ行ク、俺ノ倅

ニ、局長ハ一級ノ事務官又ハ技官ヲ以テ充ツト明瞭ニ書キマシテ、其ノ扱ヒヲ制度上モ對等ニシタノデアリマス、從前モ技術官出身程度ヲ局長ニスルコトハ是ハ可能デアツタノデアリマスガ、其ノ心持ヲ更ニハツキリスル意味ニ於テ、各省ノ局長モ、局長ノ性質上本來的ニ技官デモ事務官デモ宜イト云フコトニシテアリマス、是モ具體的ニハ自ラ技術ノ關係アル方面ニ技術官ガ局長ニナルノデアリマセウガ、技術官トシテ相當ノ經驗ガアレバ、勿論純然タル事務ノ方ニモ之ヲ活用スル方法ヲ認メテ居リ、其ノ方ニ努力シツ、アリマス、大體左様ニ御諒承願ヒタイト存ジマス

ハ理科ダト云フト、何カ惜シイナ
ト云ツタ感ジ、是ハ過日ノ憲法委
員會ニ於ケル尾崎サノ話ノ中ニ
出テ來タ一ツノ感ジ、官尊民卑の
ナ思想ヲ織リ込シ居ルト思ヒマ
スガ、官吏ノ中ニ於テ又サウシタ
差別ガアル、之ニ付テハ意ヲ十分
用ヒラレテ、今後誤リナキヲ期セ
ラレタイト思ヒマス

制度ノ問題トシテハ以上デアリ
マスガ、私ハ官吏ノ所謂指導方面
ニ付テ極メデ簡單ニ御伺ヒ致シマ
ス、幾ラ良イ法制ヲ作りマシテ
モ、ソレヲ運シテ行クノハ人デ
アリマスガ、官吏ノ指導ニ宜シキ
ヲ得ナカツタナラバ、結局總テハ
死文化致スノデアリマス、官吏ノ
今マデノ最大ノ弊害ハ、所謂責任
觀念ガ缺如シテ居タコトデアルト
思ヒマス、一應非常ニ立派ナ計畫
モ立テ、ソレヲ行フ際ニハ國家權
力ヲ總動員シテオヤリニナルケレ
ドモ、其ノ結果ニ付テハ一寸モ責
任ヲ負ハナイ、是ハ上ハ大臣カラ
下ハ判任官ノ末ニ至ルマデ、殆ド
此ノ責任ヲ負ハナイ、何カ個人ノ
特殊ナ失態トカ何トカ云フ場合ハ
兎ニ角ト致シマシテ、其ノヤツタ
コトガ非常ニ國家ノ不利益ヲ來
ス、或ハ國民ニ迷惑ヲ與ヘタト云
フヤウナコトモ、一向責任ガ執ラ
レナクテ、寧ロソレヲ援護スルガ
如ク轉任ト云フヤウナコトデ濟マ
ス、殊ニ地方廳アタリニ於ケル知
事、或ハ部長ト云フヤウナ諸君ノ

其ノ責任觀念ニ至リマシテハ、モ
ウ旅ノ恥ハ極キ捨テ式ナ狀態ニ陷
ツテ居ル、之ヲ何トカシテ是正シ
テ、本當ニ責任ヲ持ツテ事ニ當
リ、若シ間違ツタラ、昔ノ武士道
デ云ヘバ腹ヲ切ルノデアアルガ、自
分ガ本當ニ責任ヲ負フト云フ氣
持、外ノ方面カラ云ヒマシタナラ
バ、所謂信賞必罰ノ制度ト云フモ
ノガハツキリシナケレバナラナイ
ト考ヘルノデアリマス、斯ウシタ
コトガ從來喧マシク言ハレナガラ
中々實行サレテ居リマセヌ、此ノ
新シキ日本再建ノ爲ノ官吏諸君
ハ、重要ナル任務ニ就イテ賞ハナ
ケレバナラナイノデアリマスガ、
之ニ付テノ當局ノ指導方針、又何
カ具體的ナ方法デモアリマシタナ
ラバ、此ノ際承ツテ置キタイト思
ヒマス

○入江政府委員 只今ノ御意見ニ
ハ私共トシテハ全面的ニ同感デア
リマシテ、現在ノ官吏制度ノ運用
ノ面ニ於テ持ツテ居ル重大ナ缺點
ヲ衡カレタモノト考ヘルノデア
リマス、官吏ノ指導ニ付キマシテ
折角良イ人ヲ採リマシテモ、是ガ
一ツノ官僚的ナ氣分ノ中ニ育成サ
レマスト、折角ノ良イ人モ場合ニ
依ツテ其ノ能力ヲ伸バスコトガ出
來ナクナルヤウガ虞モアルノデ、
能ク前ニハ官吏ノ再教育ト云フヤ
ウナコトガ云ハレマシタガ、官吏
自身ノ研修制度――研究修養ノ制
度ト云フモノヲ擴充シテ行カナケ

レバナラヌト考ヘテ居ルノデアリ
マス、此ノ點モ實ハ四月ノ官吏制
度ノ改正ノ際ニ閣議決定ヲ致シマ
シテ、官吏研修制度ヲ確立スルコ
トノ方針ヲ立テタノデアリマスル
ガ、豫算ノ關係デアルトカ、或ハ
又其ノ後ノ色々ナ内外ノ行政事務
ノ錯雜ノ結果トシテ遺憾ナガラ是
ガ十分ニ行ツテ居リマセヌ、今日
外務省ニハ外務省官吏ノ研修所ト
云フモノガ出來マシテ、是ハ將來
ノ我が國ノ國際社會ニ於ケル地位
ヲ考ヘツ、外交官ノ研修ヲ根本
的ニヤツテ行カウト云フコトニナ
ツテ居リマス、又文部省ニ於キマ
シテモ、教育事務ニ從事スル官吏
ノ研修所ト云フモノガ設ケラレマ
シテ、之ニ付テモ段々ト内容ガ充
實シツ、アリマスガ、他ノ省ニ於
キマシテハ未ダ十分ニ立至ツテ居
リマセヌ、併シ是モヤハリ出來得
アル限り其ノ方向ニ進ムコトニ努メ
タイト思ツテ、次ノ機會ニ於ケル
官吏制度ノ改正ノ重要眼目トシタ
イト思ツテ居リマス

責任觀念ノ缺如ノ點モ仰シヤル
通りデアリマシテ、ドウモ遺憾ナ
點ガ多カツタト思ヒマス、併シ是
ハ官吏全部ガ惡イト云フノデハナ
クシテ、官吏ノ中ニモ實際眞面目
ナ立派ナ者ガ多イノデ、寧ロ其ノ
數カラ云ツテハ少數ノ者デハナイ
カト思ヒマスケレドモ、苟クモ一
般ノ國民ニ接スル官吏ニ於テ、假
令少數デアツテモサウ云フ者ガア
ルコトハ洵ニ申譯ナイ次第デア
リ、宜クナイコトデアリマスカ
ラ、是等ノ點ニ付テモ十分檢討ヲ
加ヘタイト思フノデアリマス、ソ
レニ付キマシテハ今御述ベニナリ
マシタ信賞必罰、此ノ言葉モ前々
カラ言ハレテ居ナガラ實行ガ十分
デナカツタノデアリマス、是ハ要
スルニ官吏制度ノ運営ノ面ニ、科
學性ヲ缺イテ居ツタ點デアラウト
思フノデアリマシテ、ドウモ現在
ノ官吏制度ハ非常ニ科學性ヲ缺イ
テ居ルト私自身感ズルノデアリマ
ス、苟クモ行政事務ヲ擔任スル多
クノ行政職員ニ付テ、所謂人事行
政ニ付テノ眞面目ナ研究ト云フモ
ノガ遺憾ナガラ十分デアリマセ
ヌ、現業員等ヲ包容スル役所ニ於
テハ、待遇ノ方面カラサウ云フ研
究モ大分進シテ居リマスケレド
モ、單ニ現業ノミデナク、「デー
ブル・ワーク」ヲスルヤウナ官吏
ニ付テ、特ニ其ノ必要ガアラウト
思フノデアリマス、其處ヲ辭メレ
バソレデ恬トシテ顧ミナイト云フ
ヤウナ氣風ガ、確カニ一部ニアル
ノデアリマシテ、是ハ非常ニ残念
ナコトデアリマス、隨テ私共ハ唯
信賞必罰ト言葉デ言ツテ居ルダケ
デハ仕方ガアリマセヌカラ、一面
ニ於テハ官吏ノ勤務狀況ヲ、十分
科學的、合理的ニ考查スル制度
所謂考課制度ト云フモノヲ確立シ
タイト思ツテ居ルノデアリマス、
最近ニ於テモ色々行政能率ノ研究

ヲ科學的ニ致シテ居ル人々モ居リ
マスノデ、ソレ等ノ人々トモ相談
シタイト思ツテ居リマスシ、又
「アメリカ」ニ於テハサウ云フ方
面ガ特ニ發達シテ居リマズノデ、
ソレ等ノ資料等ヲ集メテ今日折角
の研究シツ、アリマス、極メテ合理
的ナ考課表ト云フヤウナモノヲ作
リ、之ヲ集積シテ、心理的ニモ又
事務的ニモ、十分信憑ノ出來ルヤ
ウナモノヲ作ツテ行キタイト思
ツテ居リマス、「アメリカ」ニハ
「レーディング」ト云ヒマスガ、
相當良イ制度ガ出來テ居ルヤウデ
アリマスカラ、サウ云フ書類等モ
集メテ居リマスシ、最近「アメリ
カ」方面ノ人ニモ色々意見ヲ聽イ
テ研究シツ、アリマス、尙ホ之ニ
伴ツテ監察制度ト云フヤウナモノ
モ考ヘタイト思ツテ居リマスガ、
監察ノ制度ハ兎モスルト人ノ非違
ヲ發キ立テルド云フ處ガアリマ
スノデ、今日ノ行キ方トシテハ、
寧ロ事務ノ能率狀況ヲ監査シ、サ
ウシテ其ノ能率ヲ如何ニシテ合理
化スルカ、又増進スルカト云フ方
面、事務ノ指導方面カラ監察シ、
併セテ其ノ事務ヲ擔任シテ居ル官
吏ノ考課ノ場合ニ之ヲ參考ニシテ
行ク、サウ云フ風ナ方法デ以テ、
賞スベキハ必ズ賞シ、罰スベキハ
嚴罰ヲ以テ臨ムト云フヤウナコト
ガ初メテ出來ルデアラウト思フノ
デアリマス、又是ハ研究中デアリ
マスガ、一ツノ私見トシテ申上ガ

レバ、從來ノ官吏ガ官吏ノ在職中ニヤツタ行爲ニ付テハ、單純ニ官吏法上ノ責任、即チ其ノ人間ガ官ヲ辭メレバ、ソレデ責任ガ最大ノ點ニ於テ盡サレタト云フヤウナコトニナツテ居リマシタガ、之ニ付テハ官吏ガ在職中ニヤツタ職務上ノ過失ニ付キマシテモ、場合ニ依ツテハ刑罰ヲ以テ臨ムト云フコトモ、必要デハアルマイカトモ考ヘテ居リマス、斯ウ云フ立法例モ外國ニハ少アリ、又サウ云フ意見モ相當アリマスカラ、ソレ等ニ付テモ考ヘテ居リマス、ソレカラ官吏ガ轉々トシテ其ノ職ヲ轉ズルコトハ甚ダ宜クナイノデアリマシテ、責任觀念ノ方カラ申シマシテモ、一ツノ地位ヲ長ク其ノ人ニヤラセルト云フコトガナイドウモ無責任ニナリマス、此ノ點モ成ルベク官吏ハ長ク其ノ地位ニ就テ安ンジテ職務ガ執レルヤウニシヨウ、斯ウ云フコトガ四月一日ニ於ケル官吏制度ノ改革ノ重要ナ狙ヒデアツタノデアリマス、併シ其ノ後モ必ズシモソレト同ジデアリヤウナ遺憾ナ事例モアリマスカレドモ、已ムヲ得ナイ場合モアラウカト思ヒマスガ、方向トシテハ成ルベク一ツノ地位ニ長ク官吏ヲ置キマシテ、サウシテ官吏ハ行政官トシテハ專門家ニシテ行カウ、事務ヲヤツテ居ル者何トナク其ノ事務ヲ輕ンジテ、何カ派手ヤカナ政治面ノ方ニ乗出サウト云フヤウナ

心持ヲ起サセナイヤウニ、一ツノ地位ニ就イタナラバ、假令其ノ地位ガ地味ナモノデアツテモ、ソレヲ天職ト考ヘテ、俸給モ上リ、社會的待遇モ良クナツテ行クト云フヤウナ面ガアレバ、其ノ地位ヲ長ク保チ、責任モ感ズルヤウニナルダラウ、サウ云フ風ニ運用ノ面、制度ノ面カラモ努力シタイト考ヘテ居リマス

○憲法委員 極メテ廣範圍ニ亘ツテノ御意見ヲ拜聽シマシタガ、是非其ノ具體化ニ向ツテ御盡力願ヒタイト思フノデアリマス、戰時中ニ於キマシテモ御承知ノ通り頻リニ統制會社、統制組合ト云フヤウナモノガ出來タ、私ハ其ノ制度ノ問題ニ付テハ是非善惡ノ議論ヲ致スノデハアリマセヌガ、此ノ統制會社乃至組合、或ハ營團ナント云フ澤山出來マシタ組織ト官吏ノ間ニ、ドウモ忌ハシイ事件ガ澤山起ツテ居ル、サウ云フコトヲ行ツテ居リマスノデ生産ニ阻礙ヲ來シ、配給ハ紊レルト云ツタヤウナ、種種ノ點ニ非常ナ支障ヲ來シテ居ル、是等ハ要スルニ制度ノ問題ダケデナクシテ、官吏ノ志操、心構ヘト云フ方面ニ於テモ、大イニ檢討シナケレバナラヌ問題ダト私ハ考ヘマス、從來官吏ハ總テ國民ノ指導者トシテノ責任、指導者ダト云フ考ヘン持ツテ居ツタ、此ノ誇リトシテノ面ハ結構デナリマスガ、私ハソレヲ變ヘテ本當ノ公僕

主義ニ徹底シテ貫ハナケレバ困ル、或ハ率先垂範ダトカ、或ハ陣頭指揮ダトカ、云フヤウナ言葉、次カラ次ニサウ云フ熟語、漢語ガ生レテ來マシテ、洵ニ華ヤカナ狀態デアツタノデアリマスガ、其ノ實全ク言フコトト實際ト逆ニナツテ居ル、是ハ官吏ガ國民ヲ指導シテ居ルノガ、國民ノ上ニ君臨シテ居ルノダト云フ封建的ノ考ヘ方カラ出發シテ來タノデアアル、隨ヒマシテ殆ド日本ノ軍ニ於キマシテモ、官廳ニ於キマシテモ、或ハソレヲ眞似テ居ル會社ニ於キマシテモ、日本ノ總テノ組織ノ上ニ於テ、殆ド上ノ方ハ仕事ヲシナイ、命令ダケヲ下シテ居ル、自分ノ責任ニ於テ、判斷ニ於テ善良ナ方向ニ向フト云フコトガ出來ナイデ、下ノ方ニナレバナル程、唯命是レ從フト云フヤウナ制度ニナツテ居マリスカラ、各ミノ責任感念ヲ持テナイ、一個ノ獨立シタ人格ト其ノ職責ト云フモノガ確保サレテ居ナイ、斯ウ云フコトニ原因スルノダト思フノデアリマス、進駐軍ナシカノヤツテ居リマスコトヲ見マシテ我々ハ實ニ驚クノデアリマスガ、全ク上ノ人ガ責任ヲ持ツテ仕事ヲヤツテ居ル、日本ナドニ於テハ、少シ上ノ方ニナルト仕事ハシナイデ、會議ヲヤツタリ出張シタリシテ居ツテ、本當ノ仕事ヲスルノハ、ホシノ下ツ端ダケ少シシカヤツテ居ナイ、軍隊ニ於キマシテモ

上カラ下ヘ次第々々ニ命令ガ來マシテ、本當ニ仕事ヲスルノハ所謂兵卒デ、其ノ兵卒ノ中デモ新兵ダケダト云フ風デアツタ、上ノ方ニナレバナル程仕事ヲシナイ、責任ヲ負ハナイ、斯ウ云ツタ方法デ日本ノ組織ハ總テ貫カレテ來テ居ツタト思フノデアリマス、此ノ點ハハツキリ國民ノ公僕トシテ其ノ各各ガ其ノ地位其ノ場所ニ於テ責任ヲ持チ、同時ニ前ニ仰シヤツタヤウニ任免黜陟ニ致シマシテモ、上役ノ考ヘデ勝手ニ首ヲ減ツタリ左遷シタリト云フヤウナコトノナイヤウニ、十分其ノ點ニ付テノ御指導ヲ願ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

謂從來ノ情實主義ニ依ル任免黜陟ヲ廢シテ、公明正大ナル公僕主義ヲ、徹底セル思想ニ依ツテ左右スルナラバ、恐ラク斯ウシタ學問ト云フヤウナ問題モ——全然知ラナイ人ト知ツタ人トハ又多少ノ相違ガアリマセウガ、目立ツタ社會ニ害惡ヲ流サユウナ學問ノ醜狀トハナラナイト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテモ、今後十分ニ御指導ヲナサルヤウニ御願ヒシマスガ、何カソレ等ニ付テノ御意見ガゴザイマシタラ此ノ際承ツテ置キタイ

○入江政府委員 今ノ御話ノ、色ナ民間ノ會社等トノ間ニ忌ハシイコトガアルト云フヤウナ點モ聞開クノデアリマシテ、是ハ御話ノヤウニ官吏各自ガ責任ヲ本當ニ自覺シナイ所カラ來ルモノデアラウカト思ヒマス、又一方ニ於キマシテハ、下級ノ官吏ニ對スル十分ノ待遇ガ出來ナイト云フ所カラモ起ル問題カト思フノデアリマシテ、一面ニ於キマシテハ御話ノヤウニ、官紀ヲ振肅シテ秋霜烈日ノ態度ヲ持ツト同時ニ、片方ニ於キマシテハ十分福利施設、若シカハ給與等ノ面ヲ考ヘマシテ、兩方面カラ斯カル弊害ヲナクスルヤウニ努力シタイト思ツテ居リマス

更ニ私ハ非常ニ學問ノ弊害ガ多過ギタト思フノデアリマス、何處ニ行ツテモ學問ナシタ、地方長官アタリハ東大ヲ出ナケレバイカント云フヤウナ風ニナツテ居ル、醫者ニ於キマシテモ九大關慈惠園、日本ノ國民性ノ然ラシムル所モアリマセウ、此ノ點ニ於テモ非常ニオモヒ考ヘナケレバナラヌ點ダト思フ、文化ノ問題モアリマセウ、東大關、高関、中関ト云ツタヤウナモノヲ世間往々ニシテ聞ク、斯ウ云フヤウナモノヲ本當ニ廢止スルコトハ、是ハ制度ノ問題デヤゴザイマセヌノデ、官吏ノ心構ヘト云フ問題ガ、大キナ之ヲ左右スル鍵ニナルノデアリマスカラ、所

學問ノ御話ガゴザイマシタガ、私ノ觀ズル所デハ、最近ハ學問ト云フヤウナモノハ餘程減ツタヤウニ思フノデアリマス、私共ガ役人

謂從來ノ情實主義ニ依ル任免黜陟ヲ廢シテ、公明正大ナル公僕主義ヲ、徹底セル思想ニ依ツテ左右スルナラバ、恐ラク斯ウシタ學問ト云フヤウナ問題モ——全然知ラナイ人ト知ツタ人トハ又多少ノ相違ガアリマセウガ、目立ツタ社會ニ害惡ヲ流サユウナ學問ノ醜狀トハナラナイト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテモ、今後十分ニ御指導ヲナサルヤウニ御願ヒシマスガ、何カソレ等ニ付テノ御意見ガゴザイマシタラ此ノ際承ツテ置キタイ

學問ノ御話ガゴザイマシタガ、私ノ觀ズル所デハ、最近ハ學問ト云フヤウナモノハ餘程減ツタヤウニ思フノデアリマス、私共ガ役人

謂從來ノ情實主義ニ依ル任免黜陟ヲ廢シテ、公明正大ナル公僕主義ヲ、徹底セル思想ニ依ツテ左右スルナラバ、恐ラク斯ウシタ學問ト云フヤウナ問題モ——全然知ラナイ人ト知ツタ人トハ又多少ノ相違ガアリマセウガ、目立ツタ社會ニ害惡ヲ流サユウナ學問ノ醜狀トハナラナイト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテモ、今後十分ニ御指導ヲナサルヤウニ御願ヒシマスガ、何カソレ等ニ付テノ御意見ガゴザイマシタラ此ノ際承ツテ置キタイ

學問ノ御話ガゴザイマシタガ、私ノ觀ズル所デハ、最近ハ學問ト云フヤウナモノハ餘程減ツタヤウニ思フノデアリマス、私共ガ役人

謂從來ノ情實主義ニ依ル任免黜陟ヲ廢シテ、公明正大ナル公僕主義ヲ、徹底セル思想ニ依ツテ左右スルナラバ、恐ラク斯ウシタ學問ト云フヤウナ問題モ——全然知ラナイ人ト知ツタ人トハ又多少ノ相違ガアリマセウガ、目立ツタ社會ニ害惡ヲ流サユウナ學問ノ醜狀トハナラナイト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテモ、今後十分ニ御指導ヲナサルヤウニ御願ヒシマスガ、何カソレ等ニ付テノ御意見ガゴザイマシタラ此ノ際承ツテ置キタイ

學問ノ御話ガゴザイマシタガ、私ノ觀ズル所デハ、最近ハ學問ト云フヤウナモノハ餘程減ツタヤウニ思フノデアリマス、私共ガ役人

謂從來ノ情實主義ニ依ル任免黜陟ヲ廢シテ、公明正大ナル公僕主義ヲ、徹底セル思想ニ依ツテ左右スルナラバ、恐ラク斯ウシタ學問ト云フヤウナ問題モ——全然知ラナイ人ト知ツタ人トハ又多少ノ相違ガアリマセウガ、目立ツタ社會ニ害惡ヲ流サユウナ學問ノ醜狀トハナラナイト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテモ、今後十分ニ御指導ヲナサルヤウニ御願ヒシマスガ、何カソレ等ニ付テノ御意見ガゴザイマシタラ此ノ際承ツテ置キタイ

ニナツタ頃ハマダ相當ノウツヤウ
ニ思ヒマスケレドモ、最近ハ大分
減ツタト思ヒマス、併シ是モヤハ
リ若干ハ殘ツテ居ルカト思ヒマ
ス、是ハ官界バカリデナク民間ニ
於テハ隨分著シイ點モアリマス
ガ、民間ハ一ツノ私ノ方面デスカ
ラ宜イトシテモ、官界ニ於テハサ
ウ云フ不公正ヲ關ト云フモノハ、
一日モ早クナクシナケレバ本當ノ
意味ノ民主革命モ確立シナイ譯デ
アリマスカラ、ソレニ付キマシテ
ハヤハリ情實主義ヲ排シマシテ、
公明正大ニ人事行政ヲ行ツテ行ク
ト云フコトガ必要デアラウト思ヒ
マスノデ、是等ニ付テモ科學的ナ
運営ヲスルヤウニシテ行キタイト
思ツテ居リマス、之ニ付キマシテ
官吏服務紀律ト云フノハ、御承知
ノヤウニ明治二十年ニ出來タモノ
デ今日行ハレテ居リマスガ、是ハ
根本的ニ考ヘ方ノ建直シマシナケ
レバナラヌモノト思ツテ居リマ
ス、尤モ服務紀律ト云フヤウナ文
句ヲドウ書カウト、其ノ心ガ直ラ
ナケレバ何ニモナリマセヌケレド
モ、ヤハリ一ツノ理想ヲ示シタ官
吏ノ服務令ト云フモノヲ、十分明
カニスル必要ガアラウト思フノ
デ、憲法施行ニ伴フ官吏法ノ中ニ
ハ、是非此ノ服務ニ關スル規定
ヲ、新シイ見地カラ置キタイト考
ヘテ居リマス、唯服務ニ關スル規
定ガ徒ラニ美麗麗句ヲ並ベテ宙ニ
浮イテモイケマセヌノデ、ソレニ

付テハ色々頭ヲ悩マシテ居リマス
ガ、是等ニ付テハ御意見デモゴザ
イマシタラ、一ツ御教ヘテ願ヒタイ
ト思ツテ居リマス、本當ノ意味
デ、公僕ト申シマスガ、全體ノ奉
仕者トシテノ官吏ノ行クベキ途ヲ
示ス恰好ノ文言、或ハ良イ注意ト
云フヤウナモノハ、實ハ出來ルダ
ケ廣ク御意見モ伺ヒタイト思ツテ
居リマスノデ、斯ウ云フ席デ御願
ヒシテハ甚ダドウカト思ヒマスケ
レドモ、一ツ皆サン方カラモサウ
云フ方面ニ付テノ御指導ヲ受ケタ
イト思ツテ居ルノデアリマス

○實吉委員 學問ノ問題モ、最近
漸ク其ノ弊害ガ除去サレツ、アル
ヤニ承ツタノデアリマスルガ、是
ハ恐ラク少シ御考ヘ違ヒヂヤナイ
カト私ハ考ヘテ居ル、ソレハ、成
程戰爭中デ非常ニ人ガ餘計要ツタ
爲ニ、偶ニ一方向浮レナカウツタ
中ガ出世シタリ何カハ致シマシタ
ケレドモ、實際又サウデナクナツ
テ來ル傾向ニアルト私ハ見テ居
ル、殊ニ先程御話ニナツタ苦學力
行ノ士デアルト云ツテモ、間拔
スベキ高文試驗ニ「パス」シタ者
ガ、私學出トナルト、殆ド三丁目
一番地マデ行ケバ其處デ戸惑ヒシ
テ、勅任ニハシナイト云フ從來ノ
ヤリ方ヲ實際ニヤツテ居ルノデ
ス、此ノ私學出ノ諸君ナドハ、實
際問題トシテ、地方廳ノ部長級、
高等官三等級マデシカ殆ト上ツテ
居リマセヌ、折角サウシタ途ヲ開

イタト云ツテモ、オ前達ノ所ハ此
處マデダ、奏任以上ニハ出ラレナ
イノダト云フ一ツノ事實ヲ示シタ
ヤウニ思ハレテ、折角良イ意味ニ
於テ御作りニナツタ制度モ、斯ウ
シタ運営宜シキヲ得ナイト、非常
ナ弊害ガ出テ來ルト思フノデアリ
マス、尙ホ私共モ單ニ官吏ヲ仇敵
ノ如ク攻撃スルコトニ依ツテハ、
再建日本ノ確立ハ出來ナイ、是ハ
要スルニ官吏モ國民ノ一人デア
ルト同時ニ、又今後國家ノ再建ノ爲
ニ、大キナ役割ヲ果シテ戴カナケ
レバナラスカラコソ斯ウ云フ苦言
ヲ呈スルノデアリマスガ、ドウゾ
此ノ際思切ツタ頭ノ切換ヘヤツ
テ進ンデ貰フ、從來ノ所謂出世主
義、官等ノ上ルコトト勳章ヲ貰フ
コト、サウシタ出世主義ヲ排シ
テ、サウシテ自分ノ職務ヲ最モ正
シク理解シテ、ソレニ向ツテ邁進
シ得ルヤウナ剛健ナル所ノ氣持ヲ
養フト云フ方針ニ付テ、更ニ一層
ノ研究ト御努力ヲ御願ヒ致シタイ
ノデアリマス、不肖私共モ其ノ意
味合ニ於テ出來ルダケノ協力ヲス
ルコトハ、國民ノ義務ノ一ツデア
ルト考ヘルノデアリマス、例ヘバ
事務簡素ノ問題トカ、其ノ他轉勤
等ノ弊害ノ問題トカ云フコトハ色
色ゴザイマスケレドモ、皆サン御
疲レノヤウデスカラ大體此ノ程度
デ私ノ質問ハ打切りタイト思フノ
デアリマスガ、要スルニ民主主義
ト云フコトヲ口頭禪ニ終ラシメナ

イヤウニシテ戴キタイ、明治ノ御
一新モ文明開化ト云フ言葉デ胡麻
化シタ革新デアル、表ノ面カラ見
ルト非常ナ改革ノヤウデア
ルガ、徳川時代ノ封建制度ニ於ケル大名
ガ、華族ト云フ皇室ノ藩屏トシテ
社會的地位ヲ保チ、貴族院ト云フ
政治上ノ特權階級トシテ存在スル
ト云フヤウナコトデアツタ、武家
時代ノ所謂武士ハ、刀ヲ取上ゲラ
レ、其ノ特權ヲ取上ゲラレタカ
ノヤウニ見エタケレドモ、又是ハ軍
人官吏トナツテ明治政府、或ハ大
正、昭和ヲ通ジテノ途ヲ開イテ、
是ガ今日我ガ國ヲ不幸ニ陷レテ居
ル、アノ明治維新ニ於テ思切ツタ
改革ヲシテ、世界ノ進運ニ伴フヤ
ウナ改革ガ出來テ居レバ、私ハ斯
ウシタ弊害ハ繰返サズニ濟ンダト
思フ、結局形式上ノ問題ダケデ口
頭禪ニ終ツタ、又今度モ、民主主
義「ドイト」華力ナラバ鉤十
字ノ旗ヲ振り、「ロシヤ」盛ンナラ
バ赤イ旗ヲ振り、「アメリカ」來レ
バ星條旗ヲ振ル、サウシテ民主主
義自由平等ダト言ツテモ、ソレハ
口ダケノ問題デアツテハナラナ
イ、本當ニソレニ徹シテ、サウシ
テ我ガ國ノ在リ方ニ付テ、官吏ハ
勿論公僕デアリマシテ指導者デハ
ナイト雖モ、今日占メル役割ハ非
常ニ大キイノデアリマスカラ、其
ノ心構ヘテ徹底スルヤウナ御指導
ト御努力ガ、更ニ必要デアルト云
フコトヲ申上ゲ、今回ノ我ガ國ノ

革新ガ本當ノ掲ゲテ居リマス所ノ
文化國家ガ完成シ得ル其ノ基礎ヲ
ナス所ノ、確乎不拔ノ信念ノ確立
ニ、一段ノ御努力アラントヲ御
願ヒ申上ゲテ私ノ質問ヲ打切り
マス

○小島委員長代理 小野瀨忠兵
衛君

○小野瀨委員 私ハ、先日委員長
カラ質問ヲ許サレタ際ニ、私ノ質
問ガ先陣ノ各委員ノ方々ノ質問
ト、殆ト同趣旨ノモノデアツタ爲
ニ質問ヲ取消シタノデゴザイマス
ガ、唯一點ダケ簡單ニ文部省ノ政
府委員ニ質問致シタイト思ヒマ
ス、私ノ質問ハ本改正案トハ稍ミ
縁遠イヤウナ感ガスルノデアリマ
スガ、事恩給ニ關スル問題デゴザ
イマスノデ、此ノ際御尋ネシタイ
ト思ヒマス、質問ノ要點ハ、私立
學校ノ恩給財團ニ對スル國庫補助
金ニ關スル問題デゴザイマス、我
ガ日本ガ是カラ文化國家トシテ新
シイ發展ヲスル爲ニハ、ドウシテ
モ教育ノ發達ト云フコトガ、最モ
緊要ナコトデアルト私ハ信ズルノ
デアリマス、而シテ、文化ノ興隆
トカ或ハ科學ノ發達ト云フコトニ
貢獻シテ來タ點ニ付キマシテハ、
過去ニ於テモ、又將來ニ於テモ、
何等私學ト官學トノ間ニ其ノ別ハ
ナイト思フノデアリマス、併シナ
ガラ我ガ國ニ於キマシテハ、官尊
民卑ノ弊風陋習ト云フモノハ實ニ
牢固デゴザイマシテ、教育面ニマ

デモ滲透シテ居ルノデゴザイマス、學校方面ニ付テ見マシテモ、官學ニ對シテハ非常ニ政府ハ熱意ヲ持ツテ監督或ハ援助ヲシテ居ルニ拘ラズ、私學ニ對シテハ、先程別ナ意味ニ於テ富吉委員カラモ樓ニ御話ガアツタヤウニ、案外冷淡デアリヤウニ考ヘラレルノデアリマス、施設ノ面ニ於キマシテモ、或ハ人件費ノ補助ト云フヤウナ面ニ於キマシテモ、極メテ政府ノ補助ハ微々タルモノデゴザイマシテ、何等見ルベキモノハナイノデアリマス、先頃私立大學方面カラ補助金ノ増額ト云フヤウナ運動モ起ツテ居リ、或ハ陳情モ參ツテ居ルヤウニ聞イテ居リマスケレドモ、此ノ際私ハ私學ヲ勃興サセルコトガ民主主義ヲ徹底サセル爲ニハ必要ナコトデアルト考ヘルノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ是非私學ニ對スル補助ヲ増額シテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、從來私學ニ優秀ナ教職員ガ集マラナカウタト云フコトハ、單ニ在職當時ノ給與ガ惡イ、待遇ガ惡イト云フコトバカリデナク、退職後ノ恩給ト云フモノニ對シテ、確實ナル制度ガ出來テ居ラナイ、出來テ居ツテモソレハ僅カニ自主的ノ共濟制度デアルト云フ程度デアリマス爲メ、老後ノ不安カラ致シマシテ、折角良イ教職員ガ參リマシテモ、轉々トシテ官學方面ニ流レテ行ツテシマフ、或ハ著述界ニ流レ

テ行ツテシマフト云フヤウナ狀態ガ繰返サレテ居ツタト思フノデアリマス、私ハ寡聞ニシテ私立大學或ハ專門學校等ニ於ケル、恩給財團ト云フモノニ付テハ詳細存ジマセヌガ、先頃私立中等學校ノ方面ニアリマス恩給財團ノ方カラ、色色ナ現在ニ於キマスル財團ノ經營困難ナル事情ヲ承リマシテ、本日此ノ質問ヲ致スヤウナ次第ナノデアリマスガ、例ヲ中等學校ノ恩給財團ニ取ツテ申上ゲマス、此ノ中等學校ノ恩給財團ニ對シマスル政府ノ補助ハ、昭和四年ノ議會ニ於キマシテ、一人當リ四十八圓ノ補助額ガ議決サレタノダサウデアリマス、其ノ後已ムヲ得ナイ事情デハアルト思ヒマスガ、所謂戰時財政ト申シマスガ、其ノ爲メ、或ハ緊縮財政ノ結果カラ致シマシテ、此ノ補助額ト云フモノハ昭和二十年度ニ於キマシテハ、僅カニ加入職員一人ニ對シテ七圓ニ過ギナカウタト云フコトヲ承ツテ居ルノデゴザイマス、斯カル僅カナ補助デハ本當ニ雀ノ涙位デアリマシテ、政府ノ補助トシテハ餘リニモ意味ガナサ過ギルト私ハ考ヘルノデアリマス、サウシテ此ノ恩給財團ノ現在給付ノ目標トシテ居リマス額ハ、一人當リ三百圓カラ五百圓マデノ間デ年金ヲ出シテ居ル、而モ其ノ財源ハ利息トカ或ハ職員、學校カラノ掛金ヲ以テ賄ツテ居ルベキモノガ、現在デハ到底其

ノ年金ヲ支拂フコトガ出來マセヌノデ、準備積立金ノ中カラ毎年ナシ崩シニ拂ツテ居ルト云フヤウナ狀況デ、毎年々々其ノ積立金ノ額ハ減ツテ居ルト云フヤウナ狀況ニアリサウデゴザイマス、數字ハ簡單ニ申上ゲマスガ、事業費トシマシテ年金ノ支拂額ガ、昭和十七年度ニ於テハ三十三萬三千圓バカリデアリマシタモノガ、二十一年度ニハ五十九萬六千圓バカリニナツテ居ル、ソレカラ事務費ノ方モ十七年度ニ僅カニ一萬圓デアツタモノガ、二十一年度ニハ七萬六千圓ニナツテ居ル、非常ナル増額デゴザイマス、而モ此ノ僅カ三百圓乃至五百圓ノ恩給ニ依リマシテハ、此ノ物價騰貴或ハインフレノ昂進時代ニ、生活ノ補助トシテハ余リニ少イ額デアリマスノデ、此ノ際斯カル法人ノ恩給財團ニ對シマシテハ、政府ハ思切ツテ増額ヲシテヤウタラドウカ、サウスルコトガ私學ヲ勃興サセ、我が國ノ文化水準ヲ高メルノニ、非常ナル大キナ役割ヲ果ス所以デハナイカト私ハ信ズルノデアリマス、政府ニ於キマシテハ此ノ點ニ付キマシテドノヤウニ御考ヘニナリマスガ、現在ノ恩給法ノ制度ノ下ニ於キマシテハ、勿論此ノ法ノ適用ニ依ツテ、恩給ノ全部ノ國庫ニ於テ負擔スルト云フコトハ出來ナイノデアリマスカラ、是非トモ補助金ノ形ニ於キマシテ、政府ハ自主的恩給

財團ニ對シテ補助ノ増額ヲシテ戴キタイト私ハ思フノデアリマスガ、文部當局ノ御意見ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○日高政府委員 私立中等學校ノ恩給財團ノ國庫補助ハ、大正十三年ニ定メマシテ現在尙ホ年ニ九萬三千六百圓ト云フ少額デゴザイマス、是ハ當時ト今日トノ物價ノ指數ノ相違ト云フコトモ考ヘ、又其ノ財團ニ屬スル教職員ノ數ノ増加ト云フコトモ考ヘマシテ、是非トモ此ノ補助額ヲ増大スル必要ヲ感ジテ居リマスノデ、實ハ今年ノ豫算ニハ間ニ合ヒマセヌノデ其ダ中譯ゴザイマセヌケレドモ、明年度ニハ補助額ヲ増大スル爲ニ極力骨折リタイト存ジテ居リマス、尤モ恩給ノ國庫補助ヨリハモツト根本的ナ意味ニ於テ、今日私立學校ガ日本ノ教育ヲ擔ツテ居ル重大ナ役割ヲナシテ居ルニモ拘ラズ、其ノ存立ノ基礎ヲ脅カサレテ居ルヤウナ狀態ニゴザイマスノデ、是ハ經濟的ノ變動其ノ他デ、敗戰ノ結果已ムヲ得ナイト申シマスガ、從來日本ノ私立學校ガ、「アメリカ」其ノ他「ヨーロッパ」諸國ノ私立學校ニ比ベマシテ、財政上ノ基礎ガ貧弱デアリマスル爲ニ、經濟的ナ危機ヲ乘切ルノニ非常ナ困難ヲ致シテ居リマス、ソレ等ノ根本的ナ救済若シクハ援助、助長、サウ云フヤウナ點ト絡ミ合セマシテ考ヘナケレバナラナイト存ジマス

ガ、恩給財團ニ對スル國庫補助ノ點ハ、其ノ施策ノ一ツトシテ十分考慮致シマスシ、又増大スルヤウニ骨ヲ折リタイト存ジテ居リマス

○小野瀨委員 諒承致シマシタ

○小島委員長代理 布利秋君

○布委員 私トシテ御伺ヒシタイノハ、此ノ恩給法ノ改正ハ實ニ廣汎ニ亘リマシテ、檢討スルダケデモ容易ナモノデハアリマセヌガ、茲ニ是非御尋ネシタイトコトハ、恩給局ダケデ此ノ法案ヲ御作リニナツタノデアルガ、先ヅ私ハ最初ニ之ヲ御聽キシタイ、是ハ委員會デモ開イテ、サウシテ廣ク民間ノ意見ヲ容レテ基礎ヲ御決メニナツタモノデアルカ、此ノ點ニ私ハ不明ナ點ガアル、斯ウ云フ恩給法ヲ御決メニナル場合ニハ、廣ク恩給ニ關係ノアル民間人、又ハ有識者有能ノ士ヲ委員ニシテ、一應之ヲ研究サレテ御ヤリニナルト云フノガ本筋デヤナイカ、是ハ私ノ意見デスガ、無論ハオヤリニナツタ後カモ知レマセヌガ、之ヲ先ヅ御尋ネシテ掛ラヌト、私ノ質問ガ出ナイ、是ハナゼサウ云フ質問ヲスルカト言ヒマス、自分達ノミデ斯ウ云フコトヲ、昔ノ習慣ノ儘デ以テ新事態ニ對處サレルト云フコトハ、私ハ此ノ點ニ不服ガアル、ソレヲ一ツ恩給局側カラ御答ヘテ願ヒタイ

○三橋政府委員 今回ノ改正ノ案ヲ立デマスニ付キマシテハ、特ニ

民間ノ有識者ノ方々ノ意見ヲ徵スルヤウナコトハ致シマセヌデシタ、政府部内ノ關係當局、其ノ他ノ間ニ於キマシテ御打合せヲ致シマシテ、案ヲ作ツタヤウナ次第アリマス、今回ノ案ハ既ニ本會議ニ於キマシテノ法制局長官ノ説明ニ於キマシテモ、又此ノ委員會ニ於キマスル説明ニ於キマシテモ明カナヤウニ、終戦ニ伴ヒマスル事務的ナ事柄アルトカ、或ハ官吏制度ノ改正ニ伴ヒマスル已ムヲ得ナイ改正アルトカ、サウ云フヤウナ事柄ヲ主タル内容トシテ居ルヤウナモノデアリマシテ、特ニ民間有識ノ方々ノ意見ヲ徵シマシテ、改正ノ議ヲ進メル程ノコトモナイデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、今申上ガマスヤウナ風ニ致サレタ次第デアリマス、勿論改正ノ内容ノ如何ニ依リマシテハ——恩給法ノ改正バスル場合ニ於キマシテハ、私達ダケデナク、民間ノ有識其ノ他ノ方々ノ意見ヲ十分ニ徵シマシテ改正シナケレバナラナイト云フコトハ、十分考ヘテ居ル所デゴザイマスケレドモ、今回ノ改正案ニ付キマシテハ、今申上ガタヤウナ事情デゴザイマシテ、特ニ民間有識者ノ意見ヲ徵スルヤウナコトハ致サナカツタ次第デゴザイマス

○布委員 今ノ御答ヘデアルト、結局全委員カラ官僚々々ト云フコトヲ論駁サレテ居リマスガ、官僚獨善ノ考ヘ方ヲ以テ遂行サレテ居ルト云フコトガ、立派ニ茲ニ立證サレテ居ル、新憲法ガ出ルト云フコトハ、御承知デアアル、サウシタ新事態ヲ眼ノ前ニ控ヘナガラ、此ノ恩給ニ依ツテ茲ニ多數ノ人間ガ生活ヲシテ居リマス、民間人ニナツテシマツタ者、是等ノ考ヘ方モ聽カズニ、唯恩給ノ法律ヲ取扱フ立場ニ居ル人ノミガオヤリニナルト云フコトハ、結局昔ナガラノ封建體制ヲ維持サレルノデアツテ、先程カラノ御答ヘヲ聽キマス、ト餘程民主的ナヤウナ御答ヘヲナサルケレドモ、結局事實ハ私ハ官僚ヨリ一步モ出テ居ナイト思フ、ダカラ言ヒマス、斯ウ云フ法律案ヲ作ツテサウシテ此ノ委員會ニ出シテ、國民ヲ代表シタ者ガ兎ニ角之ヲ認メテ呉レ、是ハ一種ノ方便ニ我々ガ利用サレテ居ルト云フ形ガ感ジラレヌ譯デモナイ、サウナリマスト實際此ノ恩給ヲ貰ツテ食ツテ居ル者ト、恩給局トノ間ニ非常ナ間隔ガアルヤウニ私ハ見受ケマス、是ハ實際言フト、斯ウ云フコトハ前以テ能ク民間ノ代表者ト打割ツテ話ヲシテオヤリニナルベキモノデアアル、出來上ツタカラ之ヲ認メテ呉レトイキナリ出シテ來ル、是ハ一種ノ方便デス、是デ多數決ニ依ツテ我々ガ原案ヲ通シサハスレバ宜インダト云フ御心持デアルカ、良心的ニ良イコトナラバ改正バスルト云フ御考ヘガアリマ

スカ、私ハ休ンダ日モアリマシテ御答ヘヲ聽イテ居ナイ點ガアリマスカラ、重複スル御答ヘガ出ルカモ知レマセヌガ、此ノ點御聽カセ戴キタイ——私ノ質問ノ要點ガ分リマシタカ、之ヲ方便的ニコ、デ認メサセテシマヒタイト仰シヤルノカ、良イコトハ改正シテ行カウト云フ御心持デアアルノカ

〔速記中止〕

○布委員 今委員長ノ御説明デ、私ノ缺席シマシタ部分ノ補足ガ出來テ有難ク感謝致シマス、ソレデ此ノ恩給法ヲ、今度ハ單ニ軍人ノ關係デ改正シタト仰シヤル、來年ハ根本的ナ恩給法ノ改正ヲヤルト云フ御言葉ヲ聽キマシタガ、併シ斯ウ云フモノヲ御作リニナルナラバ、是ハ餘計ナコトデアアリマスケレドモ、今日過去ノ恩給者ハ其ノ生活ガ刻々ト迫ツテ居ルンデスカラ、來年ニナレバ其ノ恩給制度ヲドウシヨウカト仰シヤルノハ、來年以後ニ恩給ヲ貰フ人ハ宜イカモ知レマセヌガ、其ノ間ニ空聞ガアリマス、其ノ間ニ恩給ヲ貰フヤウナ順序ニナル人ニ取ツテハ大變ナ不便ヲ來ス、ダカラ斯ウ云フコトハ早ク御決メニナツテ、來年ト云ハズ、次ノ議會アタリマデニ、早ク根本的ナ改正案ヲ作ツテ御出シニナルノガ、御親切ナ立場デヤナイカト云フ考ヘ方ヲ持ツテ居リマス、ソレカラ過去ノコトハモウ遡ラナイト云フヤウナコトニナリ

マスガ、併シ過去ニ恩給ヲ貰ツテ居ル人ト、是カラ恩給ヲ貰フ人ト大ナル差ヲ生ジテ居ル、次ニハ七月豫算デ上リマス本俸ニ依ツテ恩給ガ決マリマス、併シ過去ノ人ハ大正年間ニ決マツタ恩給ニ依ツテ食ツテ居ル、其ノ當時ヨリハ物價ガ何倍上ツテ居ルカ、大體今日ハ「インフレ」ノ生活デアアルシ、過去ノ人ハ「デフレ」ニ似タ生活ヲシテ居ル、其ノ時ノ安イ本俸ニ依ツテ其ノ何分ノ一カノ恩給ヲ貰ツテ居ルト云フ其ノ人達ハ見殺シニシテシマフ、今後ノ新本俸ニ決定サレタナラバ、ソレニ對シテノ恩給ヲ貰フカラソレデドウニカ食ツテ行ケルダラウト云フ所ヲ御考ヘニナリマスデセウガ、ソレデハ過去ニ於テ社會ノ爲ニ働イテ、イマ年ヲ取ツテシマツテ居ルト云フ其ノ人達ニ對シテハ、何等ノ波動ヲ起サナイト云フコトニナリマシテ、唯法律的ニモ過去ニハ遡ラヌト云フコトノミニ行キマス、ムゴトラシイ狀態ニナルカラ、先程言フ國庫ノ補助云々ガ出タノダラウト思フ、ダカラ其ノ點ハ十分考ヘルト云フ御話デアリマスガ、私ガ斯ウシテ話シテ居ル間ニ「インフレ」ハ増大シテ居ルノデスカラ、サウ云フ點ヲ生活面ニ御考ヘ願ヒタイ、是ハ愛媛縣ノ元中學校、國民學校ノ校長外二十二名ノ請願デアリマスガ、皆六十カラ七十以上ノ人デ、其ノ人達ガ議長ニ

宛テ、嘆願シテ來マシタモノヲ一寸讀マセテ戴キタイ、是デ古イ人達ガドウ困ツテ居ルカト云フコトモ想像ガ付キハセンカト思ヒマス、デスカラ次ノ改革案ヲ御作リニナルトカ、國家補助ノ問題ガ出タ時ニハドウカ其ノ心持ヲ織込シテ戴キタイ

戰後急激ナル經濟界ノ變動ニテ物價暴騰、十倍乃至數十倍ノ高價トナリ昔日ノ恩給ニテハ到底凌ギ難ク、生活ハ日々ニ窮迫ニ陥リ、此ノ儘ニテハ餓死ノ外ナキ次第ニ御座候、元來教育界ハ經濟的ニ惠マレズ、在職中ノ待遇極メテ菲薄ニテ、數十年教育ニ從事シ一生獻身的ノ奉公ヲナシテ隱退ノ時ニ一級、二級俸ニ達スル者ハ極メテ稀ニシテ、俸給中位ニ過ギザル者ガ大多數ト云フ有様、二級、三級俸ハ單ナ形式ノ裝飾ニテ實際ニ到達シ得ザル架空俸ニ過ギザル有様ニ候、ソレ故在職中ニモ辛ウジテ一家ヲ支ヘ得ルニ止マリ、蓄ヘナドノ餘裕ナク、退職ノ際ニモ一錢ノ賜金アルニアラズト云フ有様ニテ、本俸ニ基ケル恩給ノ少額ナルコトハ中スマデモナク、平常ニテモ漸ク露命ヲ繋グ有様ニ候、然ルニ戰後急ニ「インフレ」狀態トナリ、私共教職恩給生活者ノ慘狀ハ、實ニ言語ニ絶シ、蓄ヘナキ老老ノ身ハ全ク餓死ノ窮迫狀態ニ御座候、何

卒病狀御諒承ノ上、此ノ際至急恩給ヲ十倍ニ増額方御盡力下サレ度云々

斯ウ書イテアリマス、其ノ他私宛ニ來タモノモアリマスガ、詰ル所、斯ウダラウト思ヒマス、四十歳デ恩給ヲ貰フ人ハマダ働ケルカラ、他デ働イテ二重ニ貰フコトガ出來ル、其ノ場合恩給ハ一時停止スルト云フコトモ恩給局デ考ヘテ戴キタイ、又六十歳デモ十分二重ニ働ケル人ガアリマスガ、病弱者デ働ケヌ人モ出テ來ル、是ハ其ノ緩急性ヲ十分ニ附ケテ、普遍的ニ唯恩給ヲヤルト云フノデハ、ソコニ不平等ガ出テ來ハシナイカ、恩給ノ大體ノ根本ガ説明ノ限リデナイ程ハツキリシテ居リマスカラ、其ノ目的ヲ達スルニハヤハリ老後ノコトヲ考ヘテヤル意味ニ於テ、其ノ點ニ重キヲ置イテ戴キタイ、病弱者ニ付テハ調ベルコトハ出來ナイカラ、斯ウ云フ命術的ナ方面ヲ考ヘテ恩給ノ取扱ヲシテ貰ヒタイト云フノガ私ノ希望デアリマス、此ノ改正法案ニ對シテハ反對ハアリマセヌガ、軍人ノ恩給ガ是デナクナルト云フハツキリシタモノヲオ作りニナルノデスカラ、來年オ作りニナルト云フ恩給法改正案ノ中ニ、國民ノ希望ヲ容レテ戴キタイ、之ヲヤジナケレバ思想界ハ餘程腐ツテ來ル、現在ハ安イ本俸デスカラ、思想界ガ腐ルノハ本當デスガ、本俸ガ上ツテモ腐リヌ

トハ言ヘナイ、現在一ツノ家デ、兄モ弟モ國民學校教員デアル、兄ハ部屋ニ共產黨ノ赤イ旗ヲ立テテ見タリ、弟ハ小サイ白イ旗ヲ玩具ニ立テテ見タリシテ居ル、サウシテ教ヘル先生ノ考ヘ方ハ一學校、一教員室ニ居ツテ二ツニ分レテ居ル、是ハハドノ校長モ認メテ居リ、如何トモスルコトガ出來ナイ、教育ノ中心ニナル志樞ガナクナツテシマツタノダシ、ドウニモナラナイ、校長ニ屢ニ質問シテ結果得タ答ヘハ斯ウデアリマス、丁度上ゲ風ノ紐ガ切レタヤウナモノ、デアラノ結局ドツチニ向イテ行クカ分ラナイヤウナ教育ノヤリ方ヲフラヤツツテ居ルカラ、ソコヘ切レ風ノ足ガ見エル譯デスガ、是ハドウアツテモ根本的ニ早ク民主主義デ「シンボル」ヲオ作りナルコトデアルガ、併シ是ハ恩給局ニ言ツテモ仕方ガナイコトデアル、又分達ハヤメテシマツタラアレダケノ恩給ニナルガ、ドウセソレデハ食ツテ行カレスト思フト寂シイ氣持ヲ持ツト、學校ノ教員諸君ガ言フノデス、ダカラ自然ニ氣ガ腐ツテ來ル、ダカラ教育ニモ餘リ深入リシナイデ、オ座ナリノ教育ヲスルト云フ結果ニナツテ來ルノハ、皆生活問題カラ來ルノデハナイカ、此ノ生活問題、現在ハ本俸ヲ取ツテ居ルカラドウニカ食ツテ行クケレドモ、年ヲ取ツテヨイノ

ノ爺サンニナツタラドウスルカト云フ心配ニ對シテ、ヤハリ之ヲ何トカ切り開イテヤル必要ガアリハセヌカ、其ノ點ニ於テ、先程カラ申上ゲル通り、恩給ハ年ヲ取ル程少シ殖エルヤウニデモシテ貰フカ、加算スルヤウニ何トカソコヲ方法シテ貰フ、若イ諸ガ非常ニ安ク貰フ、四十歳ノ者ハ五十歳ノ者ヨリ安ク貰フ、年ヲ取ル程少シ殖ヤシテヤルト云フヤウナ方法デ、劃一主義デハ、四十モ六十モ七十モ同ジヤウナ狀態デハ、恩給ノ精神ヲ徹底サスコトニ無理ガアリハセヌカト云フ點ヲ此ノ改正法律案ヲ見テ御參考ニ申上ゲルノニ過ギナイノデス、デスカラ何トカシテ公平ニ扱ツテ戴キタイト云フノガ、私ノ希望附キノ意見デアリマシテ、此ノ改正法案ニ對スル質疑ト云フモノハ大シテ私ハ持チマセヌ、ドウカ其ノ意味ヲ御含ミ下スツテ、簡單ナル希望ヲ述ベテ置キマス

○小島委員長代理 布君ニ申上ゲマスガ、文部省政府委員ニ對シテハ質問ハナイノデスカ

○布委員 兩方一緒ニ來テ居ルノデスカラ、文部省ノ分ダケ文部省ノ方カラ御答ヘ願ツテ、恩給局ノ分ハ恩給局ノ方デ、デスカラ二ツニ分ケテ希望ヲ傳ヘテ貰ヘバ宜イ

○小島委員長代理 ソレデ宜イノデスカ、政府委員ノ答辯ハ要ラナ

イノデスカ

○布委員 ダカラ兩方オ分ケニナツテヤツテ戴ク、今話シタノハ恩給ニ關係スルモノト、一寸兩方ノ分野ガツカヌカモ知レマセヌガ、質問デナク、私ノハ希望デスカ

○三橋政府委員 只今色々ト、今後ノ恩給ヲ改正スル場合ニ付キマシテノ參考ニナルヤウナ御希望ヲ御述ベニナリマシタガ、ソレ等ノコトニ付キマシテハ、十分ニ將來ノ改正ノ參考ニシテ取計ヲフコトニ致シタイト思ヒマス

○日高政府委員 長年教育ニ携ハツテ居リマシテ、其ノ人ガ退職ラシテ恩給生活ヲスル時ニ、非常ナ慘メナ狀態ニアルコトハ御指摘ノ通りデゴザイマシテ、私共ノ方ニモサウ云フ陳情メイタ書類モ來テ居リマス、來ノ邊ハ出來ルダケ正シイ待遇ヲ受ケラレルヤウニ骨折リマス、尤モ今後受ケル者ト從前ノ者トノ色々ノ關係モゴザイマセウシ、他ノ官廳トノ振合ヒモゴザイマセウカラ、特別ニ教員ノ待遇ダケヲ良クスルト云フコトハ、今此ノ際ハ難カシイト存ジマスケレドモ、成ベク相應ナ待遇ノ出來ルヤウニ骨折リタイト存ジマス、ソレハ全般的ノ待遇ヲ良クシマス、恩給ノ基礎額ガ向上致シマスカラ、今後ノモノニ付テハ他ノ一般ノ官吏ニ準ジタモノニハナルカト存ジマス、ソレヲ基準ニシテ、

過去ノモノニモ法規其ノ他財政等ノ點デ、許シ得ル限リハ成ベクソレニ準ジタヤウナ取扱ヲシテ貰ヒタク存ジテ居リマス、今後關係當局ノ方ト御相談シマシテ成ベク御趣旨ニ副フヤウニ取計ラヒマス

○布委員 御心持ハハツキリシマシテ有難ウゴザイマスガ、來年度ニ改正法ガ出來ルトシマス際ニハ、前以テ議會人ノ有能ノ士何人カヲ、兎ニ角御相談相手ナリ委員ナリシテ、一應役人ダケデ法律ヲ御作リニナラヌヤウニ、恩給ナドト云フモノハ廣イ意味ガアルノデスカラ、サウ云フ希望モ能ク御聽キニナツテ、法案ヲ作ルコトニ對シテノ御考ヘ方ヲ、最後ニ一言聽イテ置キタイト思ヒマス

○三橋政府委員 此ノ恩給法ノ改正ニ付キマシテハ、先程私カラ申上ゲマシタヤウナ風ニ、今回特ニ民間有識者ノ意見ヲ御伺ヒスルヤウナコトモシナカツタノデアリマスガ、案ノ内容ニ依リマシテハ、勿論民間有識者ノ方々ノ意見ヲ能ク伺ヒマシテ、取計ラヒタイヤウアリマス、此ノ次ニ致シマス恩給法ノ改正ガ、全般的ナ、根本的ナ大キナ改正ト云フコトニナツテ來マスレバ、勿論今ノ御話ノヤウナ風ニ、民間有識者ノ意見ナンカモ十分ニ徴シマシテ、サウシテ過誤ナキヲ期シタイト存ジテ居リマス

○布委員 私ハ是デ自分ノ質疑デ

打切りマス

○小島委員長代理 之ヲ以テ發言
ノ通告ヲシタ人ハ濟シタノデゴザ
イマスガ、其ノ他ニドナタカゴザ
イマセヌカ―ソレデハ是デ質疑
ヲ終結致シタイト思ヒマスガ御異
議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ〕

○小島委員長代理 御異議ゴザイ
マセヌカラ、之ヲ以テ質疑ヲ終結
致シマス、サウシテ討論ト採決
ヲ、明後二十八日ノ午前十時カラ
會議ヲ開イテヤリタイト思ヒマス
カラ、左様御諒承願ヒマス、是デ
散會致シマス

午後零時二十八分散會

昭和二十一年十月十八日印刷

昭和二十一年十月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局